

# eMAXIS JPX日経中小型インデックス

追加型投信／国内／株式／インデックス型



自分だけの投資スタイル、探せる、見つかる。  
ノーロード・インデックスファンド・シリーズ。

**eMAXIS**  
イーマクス

作成対象期間：2018年1月27日～2019年1月28日

第2期決算日：2019年1月28日

eMAXIS専用サイト  
<https://emaxis.jp/>

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、JPX日経中小型インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマークであるJPX日経中小型株指数と連動する投資成果をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第2期末 (2019年1月28日)

基準価額	10,020円
純資産総額	572百万円
騰落率	-19.9%
分配金合計	0円

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

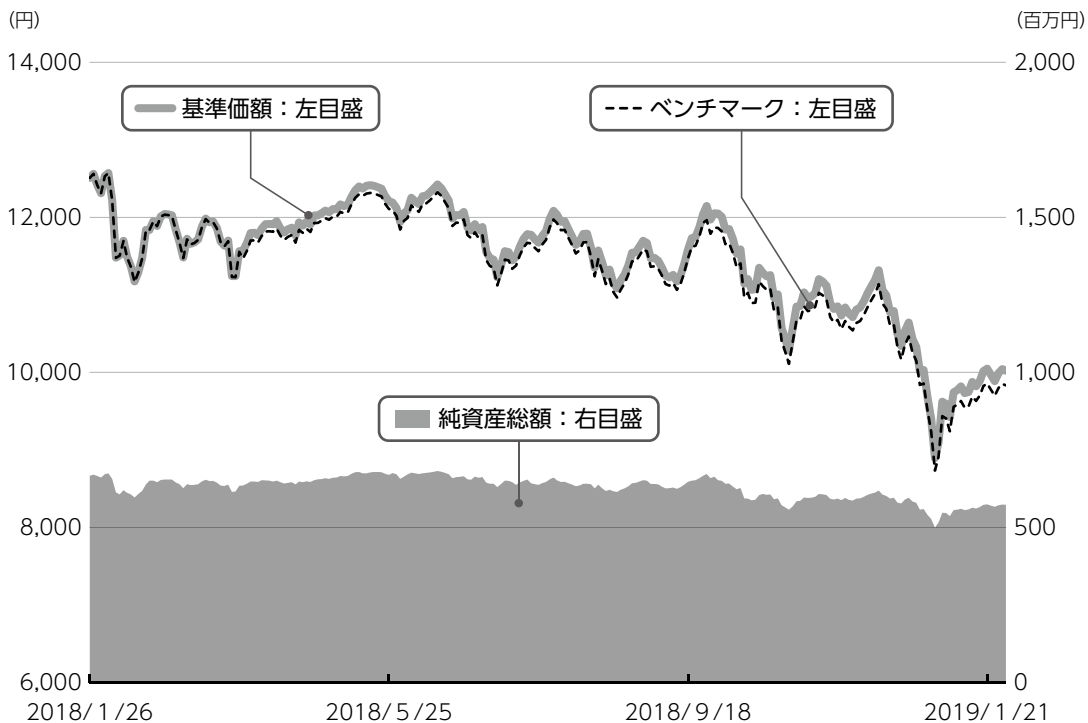
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第2期：2018年1月27日～2019年1月28日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第2期首 12,507円

第2期末 10,020円

既払分配金 0円

騰落率 -19.9%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期首に比べ19.9%の下落となりました。

**ベンチマークとの差異**

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-21.4%）を1.5%上回りました。

**基準価額の主な変動要因****下落要因**

米国長期金利上昇や景気後退懸念の台頭等による米国株式の下落等を受け、国内株式市況が下落したことが基準価額の下落要因となりました。

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、JPX日経中小型株指数です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。  
※前記指数は、配当相当分を含まないインデックスです。このためファンドとベンチマークの騰落率との差異には、ベンチマークが配当相当分を含まない指数であることによって生じる「配当金要因」が含まれている点にご留意ください。

2018年1月27日～2019年1月28日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	50	0.433	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(22)	(0.190)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(22)	(0.190)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(6)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(0)	(0.000)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(c) その他費用	0	0.003	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	50	0.437	

期中の平均基準価額は、11,444円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

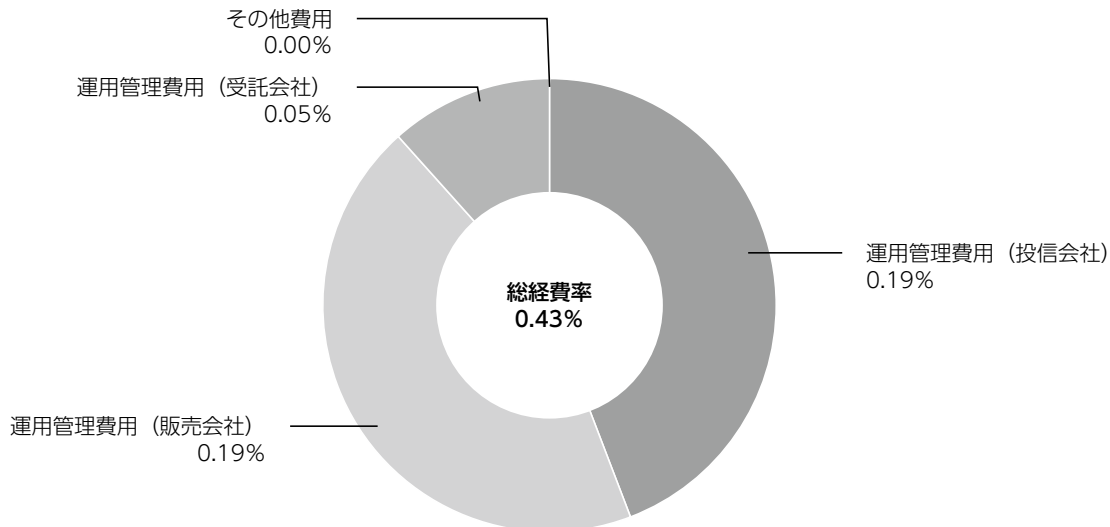
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.43%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

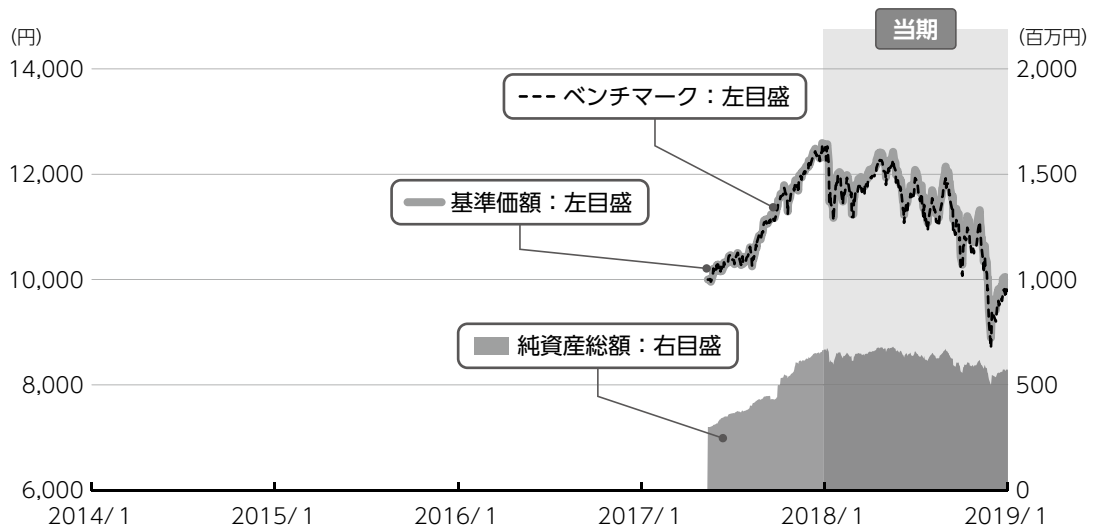
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年1月28日～2019年1月28日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※ベンチマークは、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

					2018/1/26 期初	2019/1/28 決算日
基準価額 (円)	—	—	—	—	12,507	10,020
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	—	—	—	—	0
基準価額騰落率 (%)	—	—	—	—	—	-19.9
ベンチマーク騰落率 (%)	—	—	—	—	—	-21.4
純資産総額 (百万円)	—	—	—	—	666	572

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

ベンチマークは、JPX日経中小型株指数です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第2期：2018年1月27日～2019年1月28日

## 投資環境について

### 国内株式市況

米国長期金利上昇や景気後退懸念の台頭等による米国株式の下落や、国内企業の業績上方修正期待がしぼんだこと等を受け、国内株式市況は下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### eMAXIS JPX日経中小型インデックス

JPX日経中小型インデックスマザーファンド受益証券にほぼ100%投資しています。このため基準価額はマザーファンドとほぼ同様の推移となりました。

### JPX日経中小型インデックスマザーファンド

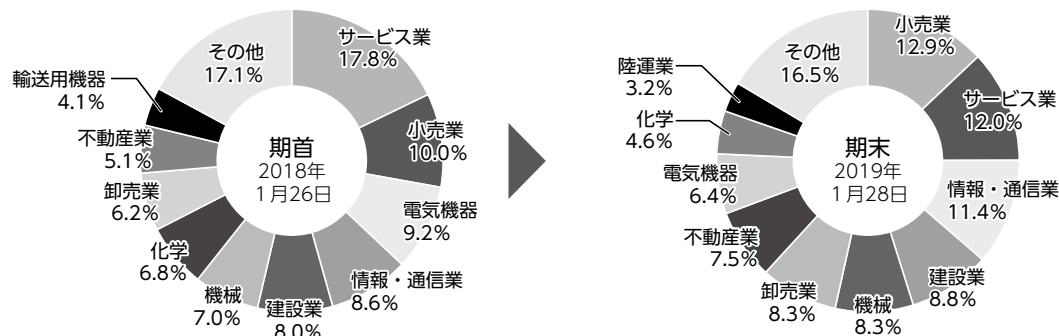
基準価額は期首に比べ19.6%の下落となりました。

資産のほぼ全額を株式（先物を含む）に投資しました。

株式ポートフォリオはベンチマークであるJPX日経中小型株指数の個別銘柄構成比率に合わせて構築しました。

(ご参考)

### 組入上位10業種



(注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### ▶ eMAXIS JPX日経中小型インデックス

ベンチマークとのカイ離は1.5%程度となりました。

#### マザーファンド保有以外の要因

管理コスト等による影響は△0.3%程度でした。

#### マザーファンド保有による要因

マザーファンド保有による影響は1.8%程度でした。

### ▶ JPX日経中小型インデックスマザーファンド

ベンチマークは21.4%の下落となったため、カイ離は1.8%程度となりました。

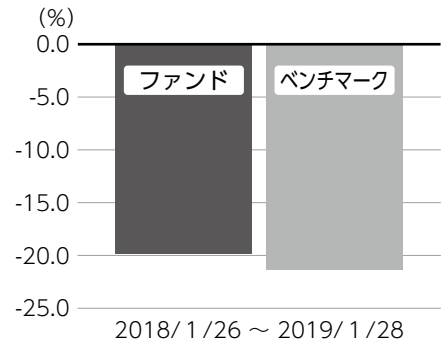
ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

**主なプラス要因：** 配当要因\* 1.9%

\*ベンチマークが配当相当分を含まないインデックスであることによって生じるプラス要因です。

**主なマイナス要因：** 取引コスト要因

基準価額（ベビーファンド）と  
ベンチマークの対比（騰落率）





## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
	2018年1月27日～2019年1月28日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,980

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ eMAXIS JPX日経中小型インデックス

JPX日経中小型インデックスマザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

### ▶ JPX日経中小型インデックスマザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・商品性として無手数料とするため、販売手数料に係る記載の削除および記載整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。（2018年4月26日）

## ▶ その他

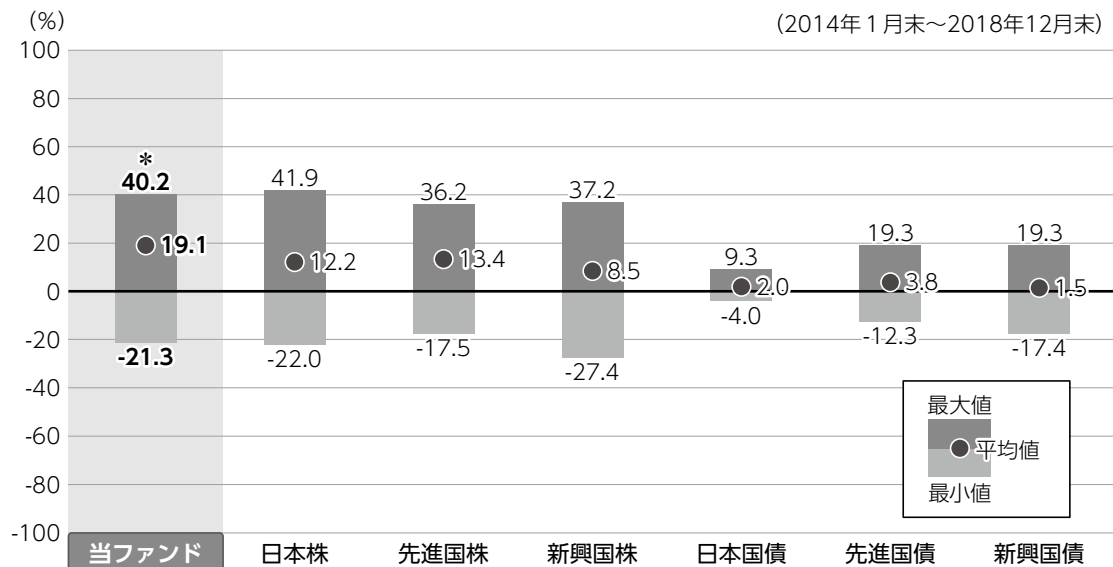
- ・本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、F T S E 債券インデックスの名称に変更しています。
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式／インデックス型
信託期間	無期限（2017年6月12日設定）
運用方針	<p>J P X日経中小型インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。株式以外の資産への実質投資割合（信託財産に属する株式以外の資産の時価総額と信託財産に属するマザーファンド受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の総額に占める株式以外の資産の時価総額の割合を乗じて得た額との合計額が信託財産の総額に占める割合）は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド J P X日経中小型インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■マザーファンド わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。</p>
運用方法	J P X日経中小型株指数の値動きに連動する投資成果をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年1月から2018年12月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンド（ベンチマークの1年騰落率を含みます。）および他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

\*ファンドについては2017年8月～2018年12月の同様の騰落率を表示したものです。ベンチマークの1年騰落率算出月である2017年8月から2018年5月以前はベンチマークの1年騰落率を用いています。

## 各資産クラスの指数

日本株	TOPIX（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2019年1月28日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第2期末 2019年1月28日
JPX日経中小型インデックスマザーファンド	100.0%

※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

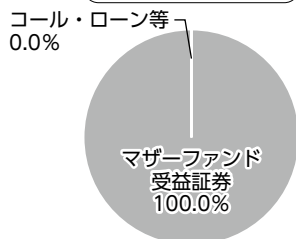
### 純資産等

項目	第2期末 2019年1月28日
純資産総額 (円)	572,288,837
受益権口数 (口)	571,154,468
1万口当たり基準価額 (円)	10,020

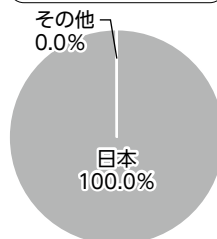
※当期中において追加設定元本は250,332,540円  
同解約元本は 212,022,979円です。

### 種別構成等

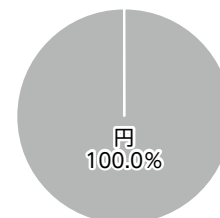
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

291317

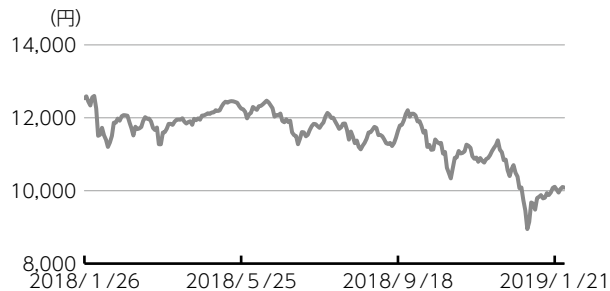
2019年1月28日現在

## 組入上位ファンドの概要

### ▶ J P X日経中小型インデックスマザーファンド

#### 基準価額の推移

2018年1月26日～2019年1月28日



#### 1万口当たりの費用明細

2018年1月27日～2019年1月28日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料	0	0.001
(株式)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
(b) その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、11,493円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

#### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：200銘柄)

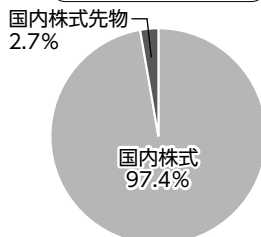
	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	レーザーテック	株式	日本	電気機器	1.9
2	三井住友建設	株式	日本	建設業	1.5
3	タクマ	株式	日本	機械	1.3
4	兼松	株式	日本	卸売業	1.3
5	ダイワボウホールディングス	株式	日本	卸売業	1.3
6	東京製鐵	株式	日本	鉄鋼	1.2
7	興銀リース	株式	日本	その他金融業	1.2
8	TOKAIホールディングス	株式	日本	卸売業	1.2
9	センコーグループホールディングス	株式	日本	陸運業	1.2
10	日医工	株式	日本	医薬品	1.1

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

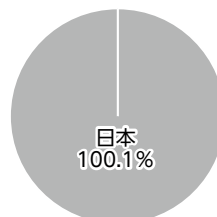
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

#### 種別構成等

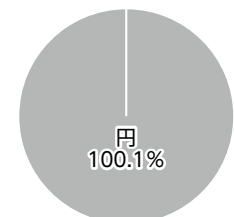
##### 資産別配分



##### 国別配分



##### 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

# 指数に関して

## ▶ ファンドのベンチマークである『J P X日経中小型株指数』について

J P X日経中小型株指数とは、東京証券取引所の第一部、第二部、マザーズ、JASDAQを主たる市場とする普通株式等の中から時価総額、売買代金、ROE等を基に原則200銘柄を選定し算出される株価指数です。「J P X日経中小型株指数」は株式会社東京証券取引所（以下、「東京証券取引所」といいます。）と株式会社日本経済新聞社（以下、「日本経済新聞社」といいます。）によって開発された手法によって算出される著作物であり、東京証券取引所と日本経済新聞社は、「J P X日経中小型株指数」自体および「J P X日経中小型株指数」を算出する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。「J P X日経中小型株指数」を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、すべて東京証券取引所と株式会社日本取引所グループ、及び日本経済新聞社に帰属しています。ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、東京証券取引所と日本経済新聞社は、その運用およびファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。東京証券取引所と日本経済新聞社は「J P X日経中小型株指数」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負いません。東京証券取引所と日本経済新聞社は「J P X日経中小型株指数」の構成銘柄、計算方法、その他「J P X日経中小型株指数」の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● T O P I X（配当込み）

T O P I X（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（T O P I X）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。T O P I X（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、T O P I X（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、T O P I X（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはT O P I X（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ● M S C I コクサイ・インデックス（配当込み）

M S C I コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、M S C I コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● M S C I エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

M S C I エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、M S C I エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● N O M U R A - B P I（国債）

N O M U R A - B P I（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、N O M U R A - B P I（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● F T S E世界国債インデックス（除く日本）

F T S E世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● J P モルガンG B I - E M グローバル・ダイバーシファイド

J P モルガンG B I - E M グローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信